

KID'S POWER



第3刊 (世帯配布)

令和 8年 3月 24日
発刊 白水保育園 園長 黒田 剛
住所 南区鶴見通1-3-11
電話 052(611)0439

3学期は、造形展、生活発表会と大きな行事も無事子ども達の頑張りで行う事ができました。1年間専門教育にご理解とご協力ありがとうございました。

専門教育ごとに子ども達の様子をまとめてみましたので、どうぞご覧ください。

鼓笛

あやめ (5歳児)



3学期は色々と行事が多い中、動くコンサート、生活発表会、ナゴヤバンドウェブ、に出演させて頂きました。とても大きな本番を控えているために年明け早々から週に2~3回を目処にコンスタントに練習を続けていました。

その本番本番に合わせて会場の広さや入退場の練習など子ども達が忘れないように反復練習をし、また打楽器等は子ども達があきない様に少しだけリズムのレベルを上げたり、ただ慣れで練習をするのではなく常に課題に向き合い丁寧にこつこつと積み上げていく事の大切さを心掛け練習に取り組んでできました。

そして2月15日ポートメッセなごやで行われた動くコンサートでは、いつもの大会とは違い、年齢の壁を越えてメンバー同士の交流や団体の繋がりを大切にしているイベントなので、とても

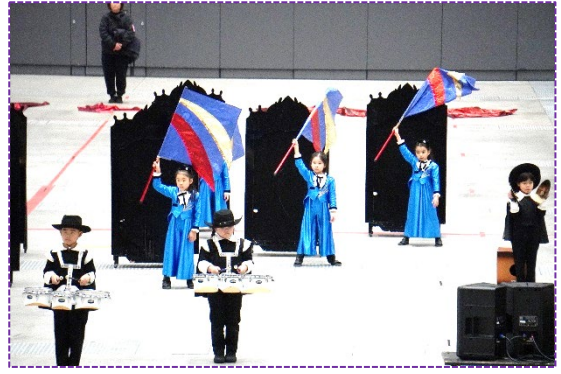
アットホームな雰囲気で行う事ができました。休憩時間では高校生のお兄さんお姉さんが楽器の生の音色を聞かせてもらったり、同じマーチングを愛するメンバーとしての嬉しい一幕もありました。また、各団体から沢山のメッセージカードも頂き、しばらく部屋に飾らせて頂きました。このカードは卒園式に保護者の皆様にもご披露させて頂きます。

そして生活発表会では、ステージ演奏の為、カラーガードの女の子達は舞台の下小さなスペースで演奏をする為にその為だけに体育館で何回も振りの変更や確認練習を行いました。生活発表会では力強い演奏と短期間の中でもすぐ反応してみんなそれぞれに力を合わせてよく頑張ったと思います。

そして先日3月14日ガイシホールで行われたバンドウェブが最後の本番となりました。これは名古屋まつりの一貫として毎年秋に行われるイベントですが、ガイシホールの改装工事が遅れていて為、異例のこの時期の本番となりました。今年は全体がストーリー仕立ての白水は大きな挑戦の物語でした。小さな子ども達が歩き、音を出し仲間と心を合わせる・・・クラシック音楽がおりなすダイナミックなスケールの大きさと子ども達が創造する新世界の世界を子ども達なりに思いっきり表現してくれたと思います。この1年間を振り返って仲間と過ごした時間、練習の日々、辛い壁をいくつも乗り越え子ども達は大きく逞しく成長してくれたと思います。



KID' S POWER





最後になりましたが、日々の鼓笛活動に対して深いご理解とご協力ありがとうございました。差し入れなど保護者会中心に動いて頂いた役員の方々、そしていつも陰ながら温かく見守り、応援して下さった保護者の皆様、お手伝いのお父様方・・・数々の大会の準備から片付けまでお力を貸して頂き、いつも心強く支えて頂いた事、心より感謝致しております。本当にありがとうございました。

すみれ（4歳児）

3学期に入り、ドーマンカードで楽器の名前を覚えたので、実際に鼓笛で使う楽器を見ると、すぐに答えることができました。自分の体より大きな楽器や、大きな音にびっくりしながらも、自分で音を鳴らすことができた喜びで、嬉しそうでした。年長組への期待感も膨らんだようです。





ゆり (3歳児)

幼児になり、初めての生活発表会。ゆり組は曲に合わせて、踊りを練習しました。

初めは曲に親しみながら振りを覚え、慣れてきた頃にはリズムに合わせることを意識するように指導しました。少しずつ上達していく子ども達に成長を感じました。

本番は大きな舞台に戸惑ってしまわないかと心配していましたが、楽しそうに踊る姿は可愛らしくもあり頼もしさも感じられました。

発表会後も「お遊戯楽しかった!」「またやりたい」と子ども達から声上がり、今はみなでお遊戯ごっこを楽しんでいます。



この一年色々な経験を通して得られた自信をすみれ組でも沢山活かして頑張してほしいと思います。

造形

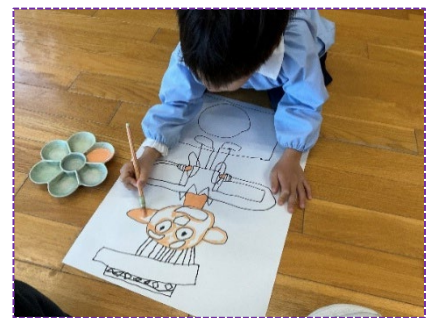
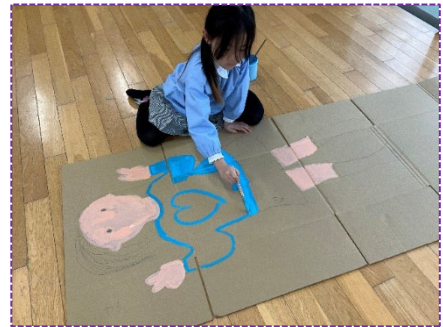
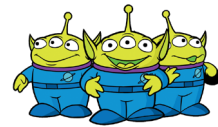


学校へ行っても造形活動にたくさん取り組み、イメージを形にする楽しさを感じてほしいです。

あやめ (5歳児)

今年度の造形展は、「トイストーリー」をテーマに作品づくりをしました。子ども達が大好きなテーマだったので、イメージがしやすく、個々の製作の技法を楽しみながらのびのびと取り組んでくれました。

自分の顔を版画にしたり、鼓笛の絵を描いたり、子ども達にとってワクワクするような題材も多く、造形の先生たちとじっくり作品に向き合い、細かいところまでこだわっていた子ども達。



すみれ (4歳児)

3学期は造形展に向けて製作活動を行いました。今回のテーマ「ディズニー」からすみれ組は「モアナと伝説の海」の話をテーマに作品作りをしました。

牛乳パックで主人公の乗る船を作ったり、紙コップでペットの「プア」作ったり、紙粘土でティフィティの心の形を作り世界に一つだけのペンダントを作ったりと様々な製作活動に楽しそうに取り組んでいました。



前期と後期の家族の絵では、前期に比べ細かなところや色使いなどにもこだわって描いたりと集中して取り組めるようになってきました。これからも作る楽しさ、表現する楽しさを大切に、出来る上がる喜びを味わうことができるよう、楽しく造形活動に取り組んでいきたいと思ひます。



ゆり (3歳児)

造形展では「シュガーラッシュ」をテーマに作品作りに取り組みました。紙を丸めたドーナツ、カップケーキの吊り飾り、空き箱にずらして重ね貼りしたアイス、粘土でお菓子を自由に形作りしました。様々な技法で製作をしてきました。指先を器用に使うことが出来るようになり、はさみやのり貼りがとても上手になりました。製作の他に、貼り絵、スチレン版画にも取り組みました。



1年を通して様々な製作に触れ、作り上げることの楽しさ、嬉しさを感じることが出来たと思ひます。これからも楽しみながらも真剣に取り組む、いろいろな作品を作っていきたいと思ひます。

< 第56回 世界児童画展 >

今年の世界児童画展の 入選 は下記の通りです。
おめでとうございます。

特選



「ドクターイエローと新幹線」
山路 零石（4歳児 すみれ）

入選



「だんごむし」
津村 一牙（4歳児 すみれ）



「かぶとと虫と幼虫」
山田 雄二（4歳児 すみれ）



「みんなでロケット」
田尻 陽一郎（4歳児 すみれ）



「こうじのくるま」
神谷 宗佑（4歳児 すみれ）



「おいかけっこしてあそぶ かえる」
松村 朔（5歳児 あやめ）

< 第85回 全国教育美術展 >

今年の全国教育美術展の 特選、入選 は下記の通りです。
おめでとうございます。

特選



「速いドクターイエロー」
青山 凌士（4歳児 すみれ）

入選



「うしととり」
成田 りな（4歳児 すみれ）



「しゅっぱーつ」
北川 虎ノ介（5歳児 あやめ）



「虹色のダンゴムシ」
浅井 郁花（5歳児 あやめ）



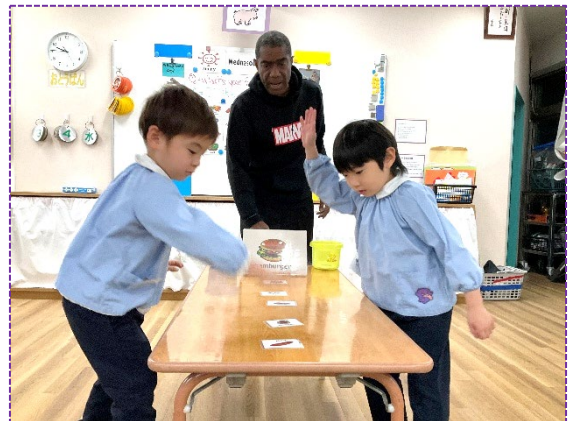
「バスにのっておでかけ」
ジュン ダン チ アン（5歳児 あやめ）

英会話



あやめ (5歳児)

3学期に入り、opposite (反対言葉) に挑戦していきました。hot=coldや、long=shortなど、馴染みのある単語ばかりだったので、絵を見て、考えながら発言ができました。また、音楽に合わせて歌をうたいながらゲーム形式で楽しく覚えていきました。課外教室の子たちが先導していきながら、ブルーチーム、イエローチームそれぞれ自分のチームを応援し合う様子がみられ、団結力が深まっているようでした。



普段のレッスンからチャーリー先生とコミュニケーションをとりながら、楽しく英会話に参加し、英語に触れてきました。小学校へ行っても英会話の楽しさを忘れず、国際的な視野を広げていってくれるといいですね。

すみれ (4歳児)

3学期は体の一部や感情を、カードや音楽に合わせて踊ったりしながら覚えていきました。

Head Shoulders, Knees & Toes の歌に合わせて友達とダンスをしたり、子ども達が大盛り上がりするゲームも内容を理解して楽しんでいました。以前は、先生発音を聞いてから答えていましたが、今では自分で覚えて答えられるようになってきました。

あやめ組になっても、引続き、楽しみながら多くの英語に親しんでいってほしいです。



elephant

ゆり (3歳児)

3学期は顔の表情や身体の一部、動物の名前を歌やゲームを通して楽しく発音してきました。ゲームでは、2チームに分かれてボールあてやピコピコハンマーを使ったゲームをしました。集中して聞いたり、同じカードを見つけたりと意欲的に取り組む姿が多く見られました。また、1年を通して行ってきた“今日の天気は？” “今日は何曜日？”などの質問に対しても元気に応えることができるようになってきました。すみれ組になっても引き続き楽しんで英会話に参加してほしいです。



squirrel



fox



sheep





あやめ (5歳児)

3学期は、2学期に引き続きドッジボール大会に向けてボールを使った運動に取り組んできました。

ボールに慣れることから始め、基本動作の投げる、受ける練習、そしてゲームへと少しずつ進めていきました。ドッジボールを毎日の様に経験していくことで、投げ方、逃げ方、ルールとその都度状況に合わせ共に考え取り組み、コツをつかむことができました。日々の積み重ねは大きく、上達していくスピードも目を見張る物でした。

気持ちの面でも「〇〇くんのボールをとりたい」、「当てたい」、「今度は、勝ちたい」という気持ちが芽生え、また試合になると、時には、体操の先生達と真剣勝負を繰り広げるほどになりました。当日は愛知製鋼の ASCOM で行いました。勝ったチーム、負けたチーム、それぞれに思い思い頑張る事が出来ました。



KID' S POWER

小学校でさらにステップアップをしたゲームができるようになればと思います。

年を重ねるごとにいろいろなことにチャレンジした体操。いろんな経験を通して体力的にも精神的にも頼もしくなりました。



優勝の赤チームの園児達です。

すみれ (4歳児)

3学期は体力作りを主に行いながら、来年度のあやめ組に向けて組体操の基本となるマット運動、柔軟体操など様々な運動に挑戦しました。足をしっかりと動かして走れるように、思いっきり円の外側を走る運動もしました。ブリッジでは、手と足にしっかり力を入れ、最初は頭が床についたままだった子も、繰り返しやる事により、体を持ち上げられるようになりました。ボール投げにも挑戦しました。片手で投げる、投げ方を教えてもらい上手くできないながらも頑張っってチャレンジしていました。これからも、たくさん体を動かし、どんな事も諦めず挑戦して行ってほしいですね。



ゆり (3歳児)

3学期はマット、鉄棒、ボールを使った運動遊びをしました。マットを使い前回りをしたりウレタンの棒をとんだりくぐったりしました。少し高い所からも怖がらずに両足ジャンプにチャレンジしていました。又、鉄棒のぶら下がりでは、腕の力が強くなり長い時間できるようになってきました。すみれ組でもたくさん体を動かし、楽しんで取り組んでいきたいです。



ピアジェ



あやめ (5歳児)

3学期は、4つの単元に取り組みました。気が付く点や表現も少しずつ細くなり、集中して考え、発表できる子が増えました。子どもたちの発想はとても素晴らしいです。



単元⑧「ぶたくんのおつかい」は、順序数は方向によって逆になり、反対の性質で結ばれていることに気づいていくものです。シールの操作では、「てくてくてく…」、「こんにちは～」などと、子どもたちなりにストーリーを作って会話しながら楽しく取り組んでいるようでした。シール操作を分かりやすくまとめた整理シートに苦戦している模様ですが、間違えてももう一度考え直し、自分で答えを導くことで自信に繋げていきたいと思えます。以前よりも積極的に発言しようとする子が増えてきて、自主的に発表出来るようになりました。3学期は、就学に向けて大切な時期となります。



ピアジェを通し、自分なりの発見や自分の考えを発言する力、集中して取り組む力をこれからも伸ばしていってほしいと思います。

すみれ (4歳児)

3学期に入り、お話作りの単元をやりました。難しい内容の単元でしたが、シールを自由に貼りそれに対して自分なりにお話を作り上げみんなの前で発表しました。時々、考えを整理しながら慎重にお話を発表する子もいましたが、どの子も自分なりのお話を作り上げていました。1年を通して取り組んできたピアジェ。私たち大人が当たり前にとらえていることも、子供たちにとっては大きな発見だったり、子供たちの豊かで自由な発想にも驚かされました。



時には友だちと意見が違って、いろんな考え方や意見があってもいいんだということ、ピアジェを通して学んでくれたのではないかと思います。進級しても自分の意見を自分の言葉で伝えていって欲しいです。

ゆり (3歳児)

今までのペタペタシールに比べ、3学期からは内容も少ずつ難しくなっていますが、導入から興味をもてるよう親しみやすい事柄を取り入れて行いました。

「2種類の集合作り」「みかけの大小」の単元を行いましたが、それぞれの特徴に目を向られるようになったこと、大人からは発想することのない気付きや子ども達ならではの言葉や感じ方などを発見することができ、こちらが驚いたり関心することも多い単元でした。



ピアジェでは、みんなの前に立ち、思いや考えを発表しますが、お友達と考えが違くとわかると何が違うかを訂正したり、みんなで考え直して発表する、そんな姿が見られるようになり、子ども達の成長を嬉しく思いました。

ピアジェを通して考える力が少しずつ身に付き、初めは発表することが恥ずかしくて上手に伝えられなかった子ども今では大きな声で伝えようとする子ども頑張っています。進級しても考えることを楽しみ、言葉で伝えることの大切さを感じながら取り組んでほしいと思います。

ドーマン

あやめ (5歳児)

3学期は小学校に向け、ひらがなやカタカナカードを中心に組みました。ひらがなはほとんどの子が読めるようになったので、その文字から始まる言葉を連想するゲームをしながら、より考える力が育つようにしていきました。語彙が豊富になった子どもたちから出てくるたくさんの言葉には驚かされるばかりです。楽しみながら取り組むことが出来ました。



ドーマンの経験を通して得た力を、小学校でも培っていけると良いですね。

すみれ (4歳児)

3学期は楽器・動物のカードを行いました。楽器のカードでは、鼓笛で使うものも出てくるので興味深く太鼓の数や形など少しの違いに気づき覚えていました。動物のカードでは知っているものや初めて見るもの、夏や冬で毛の色が変わるものなどに気づいて難しい名前も覚えていました。



はじめは自信がなく恥ずかしがっていた子ども繰り返し行うことで少しずつ自信をもって答えられるようになり、挙手する子どもも増えてきました。毎日の積み重ねの大切さが分かりますね。



ゆり (3歳児)

毎日、短い時間ですがカードに取り組んできました。どのカードも特徴のある物は覚えが早く、カードの絵を大きな声で答えています。他のカードもそれぞれの特徴を伝えながら楽しく取り組めるようにしています。

ひらがなに興味を持ち始めた子どもが増え、読めるようになってくると見つけた文字を読んでしらせてくれたり、お友達を誘い仲良く絵本を読み合う姿を見かけるようになりました。ひらがなが読めることで楽しめる幅が広がったことはとても嬉しく思います。



進級しても、日々の積み重ねを大切にしながら沢山の事に興味を持ち、楽しく取り組んでほしいです。

たんぽぽ (2歳児)

3学期のピッツカードは「猫」「鳥」「働く車」でした。聞き慣れないものや、長い名前もありましたが、何度も繰り返すうちに名前を覚えてしまう子もいました。1年を通して興味関心、集中力が高まりました。



ちゅうりっぷ (1歳児)

3学期は「動物」「働く車」「1～20」のカードに取り組みました。いろいろな動物が出てくると「ゾウ」「キリン」、乗り物は「消防車」「救急車」など声に出して言っていました。救急車が道路を走るのを見て「救急車!!」と言っていました。



さくら (0歳児)

色鮮やかな果物や動物のピッツカードや、1～10までのドッツカードに興味津々な表情で見えています。

